

| | |
|--------|--|
| 全学教育科目 | 1 年次 1～14 組 (文・教育・法・経済学部) 対象 (2 単位) |
| 授業科目名 | 芸術と文学 |
| 講義題目名 | 漢文講読 ～『列女伝』を読む～ |
| 担当教員 | 弐 和 順 YUHAZU Kazuyori (文学部中国文化論講座) |
| 授業の目標 | <p>約二千年前、前漢の学者、劉向（前 79?－前 8?）が編んだ『列女伝』は、書名の示す通り、中国古代の女性伝記集である。そこには、いわゆる良妻賢母など、模範とされた女性たちの伝記が主として収録されるが、末尾には悪女の伝記も付されている。また後代には、各伝記に即して挿絵が描かれたという。</p> <p>この講義では、漢文講読の素材として、『列女伝』の代表的な文章をとりあげ、漢文訓読法を用いながら精読する。その上で、次の問題について、受講生の諸君とともに考察したい。</p> <p>(1) 各伝記のポイントとなる場面はどこか。 (2) 各伝記の主人公とされる女性について、そのいかなる言動が評価されたのか。 (3) 編者、劉向は、各伝記の女性をどのように分類したのか。また、劉向が『列女伝』を編纂した目的は何か。</p> |
| 到達目標 | <p>(1) 中国古代における伝記文学の特質を理解する。 (2) 中国古代の絵画に親しむ。 (3) 漢文読解の基礎を身につける。</p> |
| 授業計画 | <p>まず、劉向と『列女伝』に関する解説を行い、その後、母儀伝・賢明伝・仁智伝・貞順伝・節義伝・弁通伝・孽嬖伝の中から代表的な伝記を選んで読解し、その内容について考察する。</p> <p>なお、各伝記の読解については、教員が担当するが、内容の考察については、あらかじめグループ分けした班ごとに、受講生に発言を求める予定である。</p> |